

令和2年7月15日(水) No.450



グリットを高め いつも仲間とともに 夢のある学校

里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 284-1010

1年202名 2年212名 3年176名

<http://www.sato-chu.com/>

新たな生活様式～相手との距離を保ち、心は近づけ、心を通わせる～

校長 荻上 晃司

6月15日に通常登校が再開され1カ月が過ぎました。7月5日から7月31日までの4週間は、「学校生活全般を軌道に乗せる期間」とし、土曜授業、授業期間の延長（夏休みの短縮）、放課後の補習、埼玉県学力学習状況調査、期末テスト、係や委員会活動、ガイドラインに即した部活動等を実施いたします。

本校では、3カ月の休校期間を踏まえ、生徒の学力を保障する取組として、6月16日から放課後の補習や7月は土曜授業を実施しています。また、生徒の心身の状況を把握し、今後の学校経営に生かす取組として、6月4日から全校生徒との校長面談を開始しました。3年生との1回目の校長面談は先日終了し、現在は1年生との校長面談を実施しています。

校長面談も新しい生活様式であるソーシャルディスタンスを意識し、お互いに距離をとって行わなければなりません。マスクで相手の顔もよく見えません。その分、心に寄り添うことを心がけています。人との距離を保つことや、マスクで相手の表情が見えない新しい生活様式が日常となるのであれば、「心は今までより相手に近づけ、心を通わせる」。これを新型コロナウイルスが生み出した新たな生活様式にしたいものです。

3年生との面談の中で、一人ひとりに「長期にわたる臨時休業により心配や不安を感じていることは何か」と質問したところ、多くの3年生の回答は、学習や進路についての内容でした。このような実態から、授業時数の確保は解決しなければならない大きな課題であると捉え、2学期は7時間授業（週1回程度）や月曜6時間授業（10月以降月2回程度）、学校行事の精選等で対応してまいります。

6月下旬から県内の新型コロナウイルス感染者数が増加し、本市においても連日感染者が確認されています。引き続き、3密（密閉、密集、密接）を避け、感染拡大防止を最優先に考え生徒の命を守るため、生徒が楽しみにしている学校行事については、中止したり内容を大幅に縮小せざるを得ない状況です。生徒や保護者の皆様、地域の皆様、教職員の思いを考えると苦渋の決断です。そのような中でも「心を仲間に近づけ、少しでも仲間と心を通わせる」教育活動を実施できないか、現在、教職員一同試行錯誤を重ね、実施内容や方法等を模索しています。未曾有の危機であると捉え、引き続き、保護者の皆様のご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。